項目		説明
試料・情報の利	研究課題名	AI を活用した遺伝性乳がん卵巣がん拾い上げシステムの有用性評価 (多施設共同研
用目的		究)
及び	研究対象者	2022 年 12 月から 2024 年 3 月の間に神奈川県立がんセンター乳腺外科を初めて受
利用方法		診された方
	研究目的	実臨床に導入している AI を活用した遺伝性乳がん卵巣がん症候群拾い上げシステ
		ムの有用性を多施設間で検証すること
	研究方法	2022 年 12 月から 2024 年 3 月の間に神奈川県立がんセンター乳腺外科を初めて受
		診された方の診療録から確認した、AI を活用した遺伝性乳がん卵巣がん症候群拾い
		上げシステムの実臨床導入前後の遺伝カウンセリング外来受診率や遺伝学的検査
		受検率を、多施設間で比較します(2024 疫 22 データの二次利用)。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情
		報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号(識別コード)で管理し
		ます。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワー
		ドロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西暦 2024 年 12 月 9 日 ~ 西暦 2028 年 3 月 31 日
	利用又は提供を	[<u>√</u>]総長が研究実施を許可した日
	開始する時期	[] 西暦 年 月 日頃(研究の進捗によって前後いたします)
利用する試料・	[]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、
情報の項目(チェ		[]病理検体(具体的に記載:)、
ック[X]が入った		[]尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、
項目を利用します)		[]毛髪、[]その他(具体的に記載:)
	[✓]情報:	[√]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[√]年齢、[] 生年月日、[<u>√</u>]性別、
		[]既往歴、[]併存疾患、[✓]外来日・入院日・退院日、[]臨床検査値、[]放
		射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[✓]臨床所見・経過(予後追
		跡データを含む)、[] ゲノムデータ、[]看護記録、[√]その他(具体的に記載:遺
		<u>伝診療科診療録)</u>
試料・情報を利		
用する者の範囲		神奈川県立がんセンター遺伝診療科 成松宏人(研究代表)
	共同研究機関およ び責任者	
	0.負任省	ときわ会常磐病院 尾崎章彦
		済生会横浜市南部病院 吉田達也
		昭和大学横浜市北部病院 千島隆司
	フの小の採用	神奈川県立保健福祉大学の成松宏人
	その他の機関	なし
		神奈川県立がんセンター・遺伝診療科・佐藤杏:045-520-2222
7		利用停止のお申し出は 2025 年 3 月 31 日までにお願いいたします
		ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります
		に勿口には、心日CNツノ